

写真展

芦生の天然林と 着生植物

あしろう



森の妖精
ヒナチドリ

夜叉柄杓の実
(ヤシャビシヤク)

秘められた着生植物の世界へようこそ

地面での生活をやめて、樹木の幹や枝のうえで生きることを選んだ着生植物たち—

京都大学芦生研究林（南丹市）にはこの着生植物が豊富にみられる原生的な森があります。多くの研究者が調査を行ってきた芦生の森ですが、着生植物相の研究は遅れており全貌ははまだ明らかになっていません。2019年には、近畿北部に分布しないとされたフガクスズムシソウがこの森で発見され、研究者を驚かせました。

本写真展では、植物研究者・福本 繁氏らが撮影した着生植物の写真を多数展示するほか、パネルによる着生植物の解説も行い、みなさまに植物の面白さ、芦生の天然林の貴重さをお伝えします。

- ◆ 日時 令和2年8月21日(金)～8月30日(日)
午前10時～午後4時
- ◆ 場所 京都府立植物園 植物園会館1階 展示室
- ◆ 料金 無料 ただし別途 植物園入園料が必要
- ◆ お問い合わせ 京都府立植物園
京都市左京区下鴨半木町 TEL 075-701-0141



福本 繁氏



新たに発見された
フガクスズムシソウ